

支部だより

臨時総会で支部費の一部免除を決めました

昨年末から世界中を襲っている新型コロナウイルスの勢いが収まりませんが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス禍は社会全般に影響を及ぼしており、文京支部においても5月25日の総会は、最小人数による出席と、支部員の皆様には書面議決書をもって議決権を行使していただくことで本年度をスタートさせました。

通常年とは異なり、人が集まる行事はことごとく中止・延期に追い込まれていることから、通常通りの事業運営が行えない状況になっております。こうした状況を踏まえ、文京支部では賦課金・支部費の一部免除を決めました。

なお、本年度は任期満了に伴う役員改選があり、今井支部長の続投が決まりました。不透明極まりない年度の始まりですが、引き続き支部活動へのご理解とご協力をお願いします。

① 賦課金・支部費の一部を免除します

文京支部では、新型コロナウイルス感染の拡大により、支部員各位に甚大な影響が生じていることから、5月25日に開催した総会において、賦課金・支部費の免除についての緊急動議が提出されました。そこで、6月22日、正副支部長による臨時総会を支部員各位の書面議決書により行い、賦課金・支部費の一部免除を決定しました。賦課金の免除について今井支部長は、総会や各種事業が中止になるなど、事業運営費が使われないままあることから、「支部活動費を支部会員で平等にわかちあうための方法として決めました」としています。

免除の対象となるのは、令和2年第1・2四半期（4～6月分、7～9月分）の賦課金・支部費です。これにより本部賦課金、共助分担金は文京支部が全額負担し、支部費は徴収しません。（前期までの本部賦課金、共助分担金、支部費を完納している組合員が対象です）

それに伴い、令和2年度の予算について、当初の総会資料の内容を修正し、収入合計が変わります。支出額についても総会をWeb上で開催したことから費用は0円となり、「本部費負担金」を新設して計上しています。（詳細は、各位に送付している臨時総会の資料を参照してください）

賛助協力会 会員企業一覧

(有)インキ屋マイティー	Tel.03-5802-7660	(株)ショーワ	Tel.03-3263-6141
コニカミノルタジャパン(株)	Tel.03-6311-7820	誠伸商事(株)	Tel.03-5751-3011
(株)小森コーポレーション	Tel.03-5608-7804	(株)T&K TOKA	Tel.03-3960-5101
サカタインクス(株)オフセット事業部	Tel.03-5689-6614	(株)モトヤ	Tel.03-3523-8711
(株)桜井グラフィックシステムズ	Tel.03-3643-1131	リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)	Tel.03-3927-1031
(学)日本プリンティングアカデミー	Tel.03-3811-2734	(株)大塚商会	Tel.03-3514-7625

今井支部長が続投、新執行部が決まりました！

文京支部は5月25日「令和2年度 文京支部第73期定時総会（書面議決）」を開催しました。当日は新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、正副支部長のみの最少人数の出席で、会員各位には書面議決によって議決権を行使してもらう方法をとりました。今回は任期満了に伴う役員改選があり、今井支部長が続投します。

昨年度事業では、9月に「東京ドーム野球観戦&ビュッフェ」が開催され30人が出席して盛り上がりました。その他にも、6月には新宿支部と共催の事業承継セミナー、9月の東印工組のAブロック研修会、10月の敬老の集い、年末には「行く年 来る年 師走の集い」を行いました。11月に盛大に開かれた東印工組「70周年記念式典・パーティー」にも出席・協力しました。



2月3日の顧問相談役会で

今年に入り、顧問相談役と現役幹部で情報交換を行う「顧問相談役会」を、2月3日に“うどんすき満川”にて行うことができましたが、2月29日の第34回目の落語「文印亭」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。

新年度は、本来ならば10月6日敬老の集い（未定）、10月9日～10日全日本印刷文化典（延期）といった本部関連行事や、研修会の開催、文京博覧会（ぶんぱく）への参加、年末の“師走の集い”などの予定があります。しかし、今後も新型コロナウイルス禍の影響を鑑みながら催行・延期・中止などが決められていくと思われるため、本部および支部からの連絡に注意してください。

【新年度役員紹介】 *（）内は担当

支部長 今井 寛氏（統括・本部）

副支部長 木元哲也氏（総務・研修）、谷口和彦氏（総務・運営）、白倉和昌氏（運営・ブロック連携）、吉野正利氏（財務・会計）、河野里美氏（全印工連）

地区長 中本佳孝氏（本郷地区）、中塚晴久氏（小石川地区）

監事 本田太郎氏、船越裕司氏

幹事 本郷地区：新井 論氏、阿部和浩氏 / 小石川地区：松尾耕一氏、赤尾真人氏

青年部派遣（東青協） 白倉和昌氏、中本佳孝氏、阿部和浩氏

本部委員会 委員 経営革新マーケティング委員会：河野里美氏 / 環境労務委員会：新井論氏 / 組織共催委員会：今井 寛氏 / 教育研修委員会：木元哲也氏

訃報のお知らせ

1月に(有)新晃社江島印刷の前代表者である江島万次郎様（93歳）が、また5月8日には日新印刷(株)赤尾真人社長のご母堂である赤尾静様（96歳）が逝去されました。いずれも葬儀終了後のご連絡であったため、支部員への訃報を配信しておりませんが、ここにお知らせしますと共に謹んでお悔やみ申し上げ、冥福をお祈りいたします。

業界関連の話題

① 東印工組で滝澤光正氏が理事長に就任

東京都印刷工業組合は、5月11日、日本印刷会館で総代数名、理事数名の最少人数で令和2年度通常総代会を開催し、任期満了に伴う役員改選で滝澤光正氏（新宿：滝澤新聞印刷株）を理事長に選出しました。なお文京支部からは、土屋勝則氏が副理事長に就任しています。

今年度の事業では、印刷産業が社会に対して幸せを創るHappy Industryとしての役割を担っていくため、印刷産業の構造改革、組合員企業の持続的な成長、発展を目指すことが確認されました。具体的にはIoT技術を活用した各社の収益の見える化促進、各組合員企業の生産システム連携と効率化を目指すDX（デジタルトランスフォーメーション）の調査研究を推進します。

滝澤氏は、「新型コロナウイルス禍の厳しい状況の中、組合の使命として連帯・共済・対外窓口という機能に尽きると考えている。1社では解決できない共通の経営課題に対し、同じ立場の中小印刷会社が集い、力を合わせることで解決を図るのが組合の役割。まずは経営に有効な情報の収集といち早い組合員への発信に努める。その上で組合員の声を集め、組合として行政や議会に要望し、それぞれの経営改善に資する施策の実現に向けて邁進する。苦しい環境だからこそ組合事業に積極的に参加して頂き、中小印刷業の経営者の仲間と志を共に、印刷産業をHappy Industryとして未来へ繋いでいきたい。社会から必要とされ続ける印刷産業の構築のため22支部の支部長、常任役員共々、力を合わせて組合運営に努めていく」と所信を表明しました。



理事長に就任した滝澤氏

② 全印工連 印刷産業 DX の開発に着手、IT を活用した協業へ

全印工連は新年度事業として「印刷産業デジタルトランスフォーメーション」（印刷産業 DX）の開発に着手します。クラウド上で印刷会社の設備の稼動状況を可視化し、最適な協業の仕組みを構築し、MIS（経営情報システム）機能により確実に収益を確保することを目指します。

具体的には、利用する印刷会社が受注した案件から最適な生産設備を見出して製造する受発注機能、収益を可視化するMIS機能、決済機能、評価機能などを持つもので、外部システムとの連携が可能で、請求書発行システムから請求書を自動で発行することもできます。JDFなどでジョブ情報の受け渡しを行い、ファクトリー側はJDFを受けて機械の自動セットアップなどで効率的に生産します。将来的には物流や新聞折込、封入・封緘の周辺サービスにも広がっていく予定です。

開発に当たって経済産業省の補助金を活用します。今期は「印刷DX推進プロジェクト第1期」として試行に必要なシステムの開発、生産性向上の目標値設定に取り組み、来期に10グループ（1グループ想定10社）で試行し、本稼動に向けたモニタリングなどを行い、「印刷DX推進プロジェクト第2期」として生産性目標に対する仮説検証などを進め、2023年の本格稼動を目指します。

運用当初は印刷工業組合員を対象とし、利用料は今後検討していきます。なお全印工連では約1,000社での運用を仮定しています。

＜ 全印工連ではコロナウイルス関連情報も発信しています <https://www.aj-pia.or.jp/> ＞